

**平成 21 年度当初予算 重点的な取組別概要**  
**<みえの舞台づくりプログラム>**

新 元気 1 : 「文化と知的探求の拠点」連携・創造プログラム (主担当部 : 政策部)  
(旧 「地域の知の拠点」連携・創造プログラム)

<プログラムの目標>

\* 「三重の文化振興方針」に基づき、県立図書館や博物館、生涯学習センター等を「文化と知的探求の拠点」として位置づけ、機能の充実や連携強化がはかれるとともに、市町の持つ「身近な拠点」との連携が進められています。さらに、高等教育機関との連携により、県民が個性を磨き知的探求心を満たせるような取組が進められています。 \*プログラム目標を変更しています。

<構成事業(担当部)>

- (1) 知識・情報発信図書館整備事業(生活・文化部)
- (2) みえの文化蔵(「人・モノ」集積・発信・活用)事業(生活・文化部)
- (3) 高等教育機関との連携強化事業(政策部)

<プログラムの事業費>

(単位:千円)

	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
策定時の見込額 1	17,910	23,000	21,000	21,000
予算額等 2	12,233	16,219	18,260	

1 第二次戦略計画策定時における計画記載額

2 H19 年度は決算額、H20 年度は予算現額、H21 年度は予算要求額

<構成事業の目標>

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1)県立図書館のレファレンスサービス利用件数	目標値	-	4,500 件	6,700 件	6,850 件	7,000 件
	実績値	3,885 件	6,620 件			
(2)さまざまな主体が連携して取り組む文化芸術などを体験するプログラムの実施数	目標値	-	プログラムの作成	4 件	6 件	6 件
	実績値	-	プログラムの作成			
(3)大学等高等教育機関の多様な知的資源を活用する講座やセミナーなどに参加・参画する県民の数	目標値	-	300 人	400 人	400 人	400 人
	実績値	-	280 人			

<進捗状況(現状と課題)>

- ・平成 20 年 3 月に策定した「三重の文化振興方針」では、県立図書館のみならず博物館や生涯学習センター等を県の「文化と知的探求の拠点」として位置づけ、その役割や特徴をふまえた機能の充実と連携を進め、多様な文化と生涯学習振興の総合的な展開をはかることとしています。

- ・県立図書館のレファレンスサービスをはじめ、各施設が県民のニーズに対応した講座や展覧会等の学習機会の提供を行っています。また、施設連絡会議を設置して情報共有を図り、複数の拠点が同一テーマを掲げてモデル的な連携事業を実施しています。
- ・今後は、基本計画策定中の新県立博物館を含めた各施設が「文化と知的探求の拠点」として、より効果的な情報収集や情報提供のしくみをつくること、学習成果を活用する場や交流の場を提供することが必要です。
- ・地域の歴史・文化資産に関する情報の収集・蓄積を行うとともに、主に子どもたちを対象とした本物の文化芸術にふれ親しむことができる事業と人材の育成・支援を行なっています。
- ・今後は、収集・蓄積してきた地域の歴史・文化資産に関する情報発信や拠点をつなぐコーディネート機能の強化が必要です。さらに、将来を担う次世代育成のために、文化活動を体験できるしくみづくりを拠点等が連携して進める必要があります。
- ・高等教育機関が知的資源をよりよく地域に還元するためには、県民の皆さんへ積極的に情報発信するとともに、文化・生涯学習施設や市町等との連携、高等教育機関相互の意見交換・企画立案や地域・NPO・ボランティアとの交流の機会を増やすことが必要です。

#### <平成21年度の取組方向>

図書館をはじめ各施設が有する機能や提供しているサービスについて、県民の認知度を高め、利用につながるよう情報発信力を強化していきます。

文化団体や拠点等と連携し、将来を担う子どもたちを対象にした文化活動のアウトリーチ事業を実施するとともに、そのしくみづくりと人材の育成に取り組みます。

また、地域の歴史的・文化的資源の保存と活用に向けて、それらのデータの収集を進めるとともに、効果的に発信・活用できるようなしくみづくりと人材の育成に取り組みます。

さらに、各拠点がその役割や特徴をふまえ他の拠点等と連携した取組を検討するとともに、モデル事業を実施します。

高等教育機関の知的資源の活用についても、芽生えつつある地域との連携・交流など、高等教育機関の主体的な取組を促進し、文化・生涯学習施設や市町等との連携強化、NPOなど多様な主体の参画を進めます。

#### <他の主体の参画内容>

- ・県立図書館のボランティアは、定例会や交流会を通して館内展示や広報に参画するほか、イベント時の企画運営などにも取り組みます。
- ・専門的な情報やノウハウを持つ各関係機関は、県立図書館と共催で地域の課題解決につながるような講座を実施します。
- ・県立図書館や博物館、生涯学習センター等の県の「文化と知的探求の拠点」や地域の文化団体等は、子どもたちに対しさまざまな文化活動のアウトリーチ事業を実施します。
- ・三重大学附属図書館と共同で歴史的・文化的資源のデータ収集に取り組みます。また、県立博物館と連携して人材育成の講座を実施します。
- ・拠点間連携等推進モデル事業については、各市町の文化・生涯学習施設等の協力も進めていきます。
- ・高等教育機関は主体的に市町やNPO、ボランティアなどの市民団体等と連携し、地域活動への参画や地域課題の解決への支援の取組を促進します。

< 主な事業 >

知識・情報発信図書館整備事業【基本事業名：12101 生涯学習環境の整備】(事業(1))

予算額：(20) 6,951千円 (21) 6,568千円

事業概要：県民の自己実現を支援するため、レファレンスサービスなどの情報収集支援を行うほか、関係機関との連携による講座を実施します。また、図書館の取組をPRするフォーラムを開催します。

次世代の文化体験活動推進事業

【基本事業名：13104 文化芸術を通じた他地域、他分野との連携・交流と発信】(事業(2))

予算額：(20) 4,493千円 (21) 4,274千円

事業概要：県の「文化と知的探求の拠点」や地域の文化団体等多様な主体が、芸術家や専門家を学校等に派遣し、子どもたちにさまざまな本物の文化体験ができる事業を実施するとともに、そのしくみづくりと人材育成の取組を進めます。

歴史的・文化的資産データ集積事業

【基本事業名：13104 文化芸術を通じた他地域、他分野との連携・交流と発信】(事業(2))

予算額：(20) 2,589千円 (21) 2,675千円

事業概要：関連機関と連携して歴史的・文化的資源のデータ収集と収集・活用のための人材の育成を進めるとともに、市町等との連携ネットワークの構築や保存活用のあり方の検討などのしくみづくりに取り組みます。

(新)拠点間連携等推進モデル事業【基本事業名：13101 文化芸術の裾野の拡大と頂点の伸長】  
(事業(2))

予算額：(20) - 千円 (21) 2,667千円

事業概要：拠点連携企画調整会議で各拠点間の連携に向けての取組等を検討、調整するとともに、斎王や平安時代の王朝文化等の移動展示や体験事業を、斎宮歴史博物館、図書館、博物館、文化振興室等が連携し、モデル事業として実施します。

高等教育機関との連携強化事業【基本事業名：51302 知的財産に取り組む環境づくり】

(事業(3))

予算額：(20) 2,186千円 (21) 2,076千円

事業概要：県民の皆さんの地域活動への参加や地域の課題解決につながる取組を支援する多様な講座やセミナーなどを高等教育機関と連携して開催するとともに、高等教育機関が主体的に行う地域との連携や交流の取組を促進します。